

## 受賞した学校・図書館・団体の取組内容

### (1) 学校

#### ① やつしるしりつやつしるしょうがっこう 八代市立八代小学校 (児童数：293人 校長 小倉 史朗)

##### 【取組内容】

児童の主体性を生かした読書活動の推進、保護者や地域と連携し、潤いのある教育環境の整備の一環として読書活動を推進している。また、特色ある取組を通して読書による豊かな心の育成や学力向上に取り組んでいる。

児童による主体的な活動として、図書委員会の児童を中心に読書週間を設定し、図書委員会による読み聞かせや、職員による読み聞かせを実施している。さらに校内放送を活用して先生のおすすめの本紹介や、読書週間中の図書館設営やしおり作りも実施している。

特色ある取組としては、平成25年度から実施しているPTA図書委員による読み聞かせや昼休みに低学年、中学年、高学年と発達段階に応じた読み聞かせを実施するPTA主催の「秋のお話会」等を行っている。

また、時点等を活用した調べ学習の実施や国語の授業に関連した図書等の教室掲示、本のポップや帯づくり等をじっしすることにより、教科等学習での学校図書館の活用を推進している。学校図書館で不足する図書については、八代市立図書館から事前に借りることで図書資料の充実を図り、調べ学習の活性化につなげている。

これらの活動により、年間読書冊数は、平成28年度の42,171冊から平成30年度には48,943冊を大きく増加しており、熊本県学力調査国語科では、過去3年間においてすべての学年で県平均を上回る結果となっている。

② くまもとけんりつあまくさこうぎょうこうとうがっこう 熊本県立天草工業高等学校（児童数：553人 校長 吉塚 治生）

【取組内容】

国語、社会、英語、美術、課題研究の時間等の教育活動における学校図書館の活用に積極的に取り組んでいる。特に現代社会と国語の教科横断的な授業における調べ学習や防災学習、英語の絵本読み聞かせ等の授業に図書館を活用している。

平成7年度から始業前に毎日全校一斉の朝読書活動を実施しており、25年目を迎える。休み時間や放課後等に図書館を地用する生徒も増えた。クラスごとに朝読書やSHRを図書館で行うことで、生徒が図書館に足を運ぶきっかけづくりとしている。

また、保護者やボランティアによる生徒への読み聞かせを実施するとともに、平成29年度からは、生徒有志約200人が参加し、地域内の小中学校を訪問し、読み聞かせを実施し好評を得ている。絵本等が不足する際には、天草市立図書館等と連携し、本を確保している。

さらに、令和元年度は、第1回校内ミニビブリオバトルを実施するなど精力的な取組を行っており、今後の図書館活動の推進につなげている。

これらの活動により、生徒一人当たりの貸出冊数は11冊と県平均を上回っている。また、小学校等での読み聞かせを行うことで、多くの生徒のコミュニケーション能力や読書意欲の向上、地域の協働活動等の意識づくりができています。

③ くまもとけんりつまつばせしえんがっこう 熊本県立松橋支援学校（生徒数：133人 校長 齋藤 純人）

【取組内容】

本校及び分教室では、学校図書館が教育課程の展開に十分活用され、幼児児童生徒の豊かな教養や人間性を育むための資料を収集・整理し、資料センター・情報センターとしての役割を果たすべく様々な取組を行っている。

読書活動の推進に向けた委員会活動（文化図書委員会）では、「装飾・広報・貸出業務」といった係を設定し、子供たちが主体的に図書館運営に関わっている。その他にも、ボランティアによるおはなし会の実施、春・秋2回の読書週間の設定、教師と文化図書委員とで作成している図書館だよりの発行、寄宿舎生のための夜間開放など読書活動を推進するための様々な取組を行っている。それにより、児童生徒に読書啓発を行うとともに、図書館に足を運んでもらうきっかけづくりを続けている。

平成30年度からは氷川分教室への取組を強化し、読書週間活動やおはなし会を開始するなど読書環境を整えることで、本校同様生徒に図書館へ足を運んでもらえるような取組を行っている。

各教科等の指導においては、年間指導計画に基づき、学習テーマや内容に応じた図書コーナーを期間設置したり、教科担当から事前に学習内容を確認した司書教諭等が授業に参加したりしながら、積極的な図書館の活用がなされている。

その他、宇城中央図書館から、各学期に約300冊の団体貸出を利用しており、本校図書館の資料では対応できない場合は、その他の公共図書館や近隣高等学校図書館と連携しながら読書活動の充実に取り組んでいる。

氷川分教室を含めた2箇所では図書館運営を行いながら、特色ある取組を積極的に展開している。

## (2) 図書館

たまなしみんとしょかん  
玉名市民図書館（館長 境 順一 職員数12人）

### 【取組内容】

昭和56年に設立され、当初からお楽しみ会（おはなし会）を毎月実施し、子供が本とのふれあいの場を持つように図っている。昭和58年から開催している「おはなしの絵」作品展や、平成5年から実施している移動図書館での巡回等、市内の小学校、保育所、幼稚園との連携を図っている。

平成19年からはブックスタート事業を開始し、ボランティアと協働で絵本の読み聞かせを行うなど、子供の読書環境の整備に力を入れており、親子での来館者増の一助となっている。

また、平成23年度からは「本を読んで五・七・五」キャッチフレーズを学校等へ募集し、受賞作品を図書館や学校に掲示することにより、図書館利用の増加や子供たちが本に親しみを持つことに繋げている。それに加え、小学生対象の一日図書館員、中高生対象の職場体験の積極的な受け入れを行い、子供が読書への関心をもつ機会や図書館に親しみをもつ機会をつくり、学校との連携も図っている。

これ以外にも様々な読書活動を推進する取組を玉名市コミュニティ推進課職員、図書館窓口職員、ボランティアの方々が連携し、様々な事業・行事に継続して取り組み、乳幼児から中高生まで幅広く本に親しむ機会を提供し、子供の読書活動推進に積極的に取り組んでいる。

### (3) 団体

みずみ<sup>えほん</sup>絵本サークル（代表 三角 由佳 会員数 17人）

#### 【取組内容】

宇城市三角町で活動している読書ボランティア団体であり、「子供と一緒に絵本を楽しみたい、楽しんでもらいたい」との思いから、読み聞かせの重要性を伝えている。

昭和62年から約30年以上にわたって子供たちの読み聞かせを実践し、子供の読書活動の推進の一端を担っている。

設立当初から、地元の小学校2校では、朝自習の時間を利用して、年3回読み聞かせを実施している。それに加え、小学校から依頼を受け、年1回出張おはなし会を全校生徒の前で実施している。

また、紙芝居・パネルシアター・エプロンシアター・人形劇・影絵劇・ペープサート等の多彩な組み合わせ活動しており、平成20年度から宇城市中央図書館三角分館で月1回おはなし会を実施している。

その他にも、夏のおはなし会を本サークル独自で開催し、50人ほどが集まるイベントとなっている。

ボランティアとして地域に根差した活動を長年続けており、読み聞かせを中心とした様々な活動を通して子供たちに本との出会いや楽しさを知るチャンスを与えている。